

新潟県

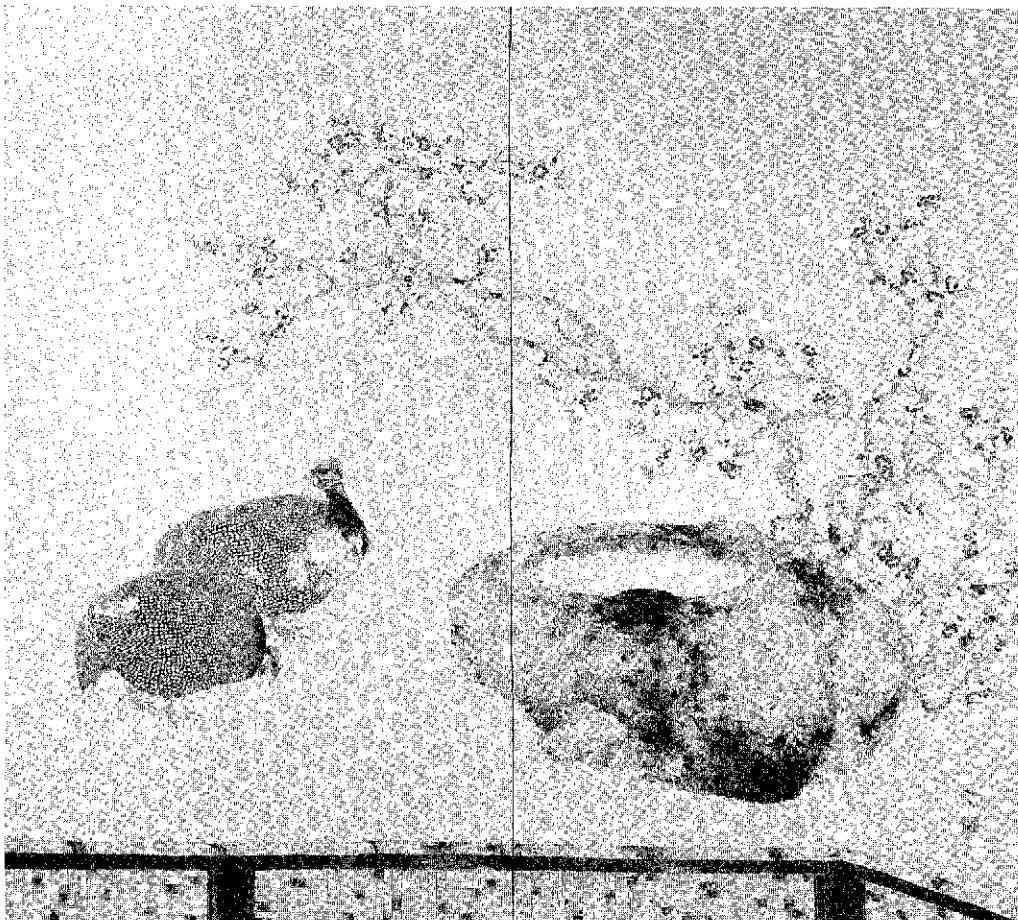
63年

# 公民館月報

1月

第419号

## 特集 女性職員だけの座談会



小杉放菴「春」 1936年

151×165.5cm 二曲屏風

放菴（1881～1964）は栃木県日光山内に生まれ、始め洋画で活躍しました。フランスに留学したとき東洋的精神の世界へと心をひかれ、帰国後は日本画も描くようになり、晩年は赤倉に居住しました。渴筆の技法を生かした作品は気品高く、墨色の階調も深く美しく整えられ、春に遊び詩境があますことなく表現されています。

## 生涯学習推進の中核センター

# 全国公民館振興大会開催

去る11月27日、東京の赤坂ブリンスホテルで、第36回全国公民館振興大会が開催された。

全国から市町村長・教育長・公民館長など千二百余名が参加、本県からは三十余名が参加

たから船に七福神が乗りあわせた、と

売り込に励まなければならぬ。

ならない。

つ津浦浦に

い、起こしたい。

かづて、新潟県には

どではないにしろ

集会と呼ぶ、今にいう

い、起き延びる。しか

どう察力をもって時

ど

者があがめでたい夢

を絞りだし、怪気炎を

し、迷える者も、知恵

を緩りだし、怪気炎を

あがめる井戸端会議に参

加し、サバイバルをか

けようではないか。

新しい時代を拓くの

は瑞々しい感覚にあ

ふれる若い職員に期待

したい。

しよう涯学習時代だ

と誰もがいう。

臨教審の答申がお題

席上で、本県関係は左の四氏が

表彰された。

優良公民館職員表彰

第36回全国公民館振興大会の

開発あいさつ——横山全公連会長

員・永年勤続職員の表彰があつた。(本県からは四名が授賞、氏名は別掲)

このあと、文部省の斎藤諦淳

社会教育局長から、およそつき

のような祝辞があつた。

た。









新堀芸術学院生のギター演奏

## 大島公民館

実験記録シリーズ

ふれあい青春広場

(21)

大島村は、周囲を山に囲まれた東頸城郡のほぼ中央に位置する小さな農村である。

昭和30年の合併当時に七千人以上あった

人口も現在では約半分ほどに減少してしまった。特に青年層の後継者の定住が見られず、ますます過疎化に拍車がかかっている。

したがって、青年活動においても会員の不足、団結力の低下、束縛されることを拒む現代の風潮など、色々な要素が重なり、昭和55年に村の連合青年団はついに解散してしまった。

しかし、各青年会や文化・スポーツ団体間の連絡や情報交換ができないことや、青年大会出場権などの問題もあって、58年に「大島村連合青年団体連絡協議会」が発足した。この会は、青年大会出場権などを解消した村連合青年団のとを受け継いだ会であり、会員のはとんどが30歳前後である。また、会員の負担になるような事業は、执行会員の条件に発足したので事実上活動は行われていない。

新堀芸術学院生のギター演奏

したがって、大島村には「新堀芸術学院」というギターの専門学校が3年ほど前に開校した。学生数は三十人である。この学校は、廃校になつた村の小学校の校舎を村が学院に提供して、都会の人と村民との交流を図るために行つた村おこし対策の一つである。

学生たちは、北は北海道から南は沖縄まで全国津々浦々から集つてきていて、しかも、20歳前後の学生がほとんどである。

そこで、村内青年間の交流を深め、青年活動に新しい活力を与えることを趣旨として「ふれあい青春ひろば」を発足した。

発足にあたっては、公民館側で実行委員を選出し、実行委員会を設立し、設立後は企画・運営を一切実行委員会で行うこと

したがって、180人をこえる村内の青年たちは同じ村に住んでいながら交流する機会がほとんどなく、お互に全く面識のない者が大半である。

ところで、大島村には「新堀芸術学院」というギターの専門学校が3年ほど前に開校した。学生数は三十人である。この学校は、廃校になつた村の小学校の校舎を村が学院に提供して、都会の人と村民との交流を図るために行つた村おこし対策の一つである。



ハレ=交歓スナップ

ある時、公民館で一つの原案を投げかけてみると、新たに考え直すのが面倒だということもあつてか、何一つ反対意見もなしだ。最初なので仕方がない。しかし、その原案が採用されてしまった。最初なので仕方がない。しかしながら、それが少しでも少しずつ取り除かれてきたように思える。この点では当初の目的は達したようだ。

その後の交流会で、キャンプやクリスマスパーティーを行つたが、そのたびに必ず新堀学生の生演奏は行つてきた。六回の交流会を実施して、村内の青年と新堀学生との間にあつた隔たりが少しずつ取り除かれてきた。しかし、この会をさらに発展させ、いかにも多くの若者に参加してもらうかが、今後の実行委員会の最大の課題である。

(社教指導員 石塚隆昭記)

にした。

実行委員の選出にあたっては、村内四地区から均一に、また、新堀学生、男女、職業的なこととも考慮して片寄らないよう

全体のバランスをとった。最初の頃の実行委員会では、お互に面識がなかったため、何をしたらよいのか、かなり戸惑いがみえた。話し合いのなかで、何も意見が出ず、ただ単に時間を使つて浪費することがかなり続いた。

若者を集めには、ありきたりだがスポーツレクがよいとのことで、バーレーボールとバドミントンを行うことにした。そして第二部は新堀学生に大島村のことをよく理解してもらうという意味で、スライドを使って村を紹介し、そのあとには、逆に新堀学生のことを村の青年に知つてもらう意味で、ギターの生演奏を披露してもらった。この時ばかりは遠慮がちだった新堀学生が水を得た魚のようであつた。また、音楽によつてお互いの気持が通じ合つたように思えた。

になつてきた。

一番問題になつたのは、交流会の内容で、「どうしたら、いかに沢山の若者を集めることができることか」ということであつた。

そこで、実行委員の自覚が見えるよう

## 小さな統計とその断面

久保野芳雄

糸魚川市の久保野芳雄氏から  
標題の一文が寄せられた。『自治  
公民館』の文字は使われてはい  
ないが、文面から察するにそれ  
らしい(もしくはそれに近い)公  
民館の問題が指摘されている。

自治公民館は、公民館の類似  
施設ではあるが、全国各地の  
町々村々で、公立公民館と密接  
な関連を持ちつつ『地域づくり』  
『人づくり』の先兵として活動  
している。

全国公民館研究集会でも、こ  
の種の施設の活発な活動事例の  
発表とともに、自主財源の取得  
方法や市町村費の助成や委託な  
どの問題が取りあげられている。  
本県でも、分館や支館という  
名称の公民館の中に、類似の運  
営をしているものが少なくない  
と思い、問題を提起する意味で  
紹介した。

私は、糸魚川市の「自治区」の  
区長として五年目。

「区政のプロファイル」と題し  
糸魚川地区(中心部)の小さな  
統計を手がけて五年目を迎えた。  
した。この統計を手がけること  
にしたきっかけは、区費の動態  
がどうなっているのかを明らかに  
しました。

そこで、新年度から特集記事  
に『Q&A』欄を設けるべく計  
画をすすめています。つきまし  
て、×××

## 広情報場

にし、とかく低いとお叱りを受  
ける各種団体の補助金について  
検討したかったからです。

当市の中心部(14自治区で構  
成、人口一万六千人余、世帯数  
四千八百余)は、年間予算五、  
八三二万円、一世帯当たり六、七  
〇〇円です。

公民館支館の諸活動への支出  
額は七一七万円(一区当たり五  
一・二万円)で、関係団体等へ  
の助成負担

総額の一  
七%に及ん

でいます。

昨今、公  
民館運動の  
曲がり角説

や、活性化論がかしましく伝え

ています。

等々の諸点を十分に検討し、『新  
しい町づくり』のために、より  
一層の活動をしてくれるなら、  
この『小さな統計』も大きく役  
に立つのではないかと思いま

(糸魚川市中央公民館)

運営審議会委員)

## 編集部からお願ひ

て、読者のみなさまから具体

的な質問を募ることにしまし

た。公民館に関することならど

んな内容でも結構ですので、質

問をどしどしお寄せください。

はがきで結構です、要旨を簡

單明瞭に書いてください。

なお、第一次ノ切りは二月木

日といたします。

らっていますが、この住民負担  
の実態をつぶさに知るとき、公  
民館運営についてより一層謙虚  
に反省してみる必要があるのに  
気がります。

いか。

一、各種諸行事に關し、地区民  
が本音を出し合って話す機会  
を工夫しているか。人数の多  
寡だけで評価をしていないか。  
一、内在する住民パワーを引き  
出すための工夫をしているか。  
一、補助金を前年より多く引き  
出しがが熱心な役員だと  
思っているむきはないか。  
等々の諸点を十分に検討し、『新  
しい町づくり』のために、より  
一層の活動をしてくれるなら、  
この『小さな統計』も大きく役  
に立つのではないかと思いま

(糸魚川市中央公民館)

運営審議会委員)

妙高村公民館社会教育係  
手塚重信氏(34歳)

社会教育の仕事に就いて四

年、最初の二年は社会体育、公民

館の勤務になって二年目の由。

一、公民館の仕事は楽しいですか?

と水を向けると、

「土・日といわば夜でも仕事

があるから大変です。楽しいと

いうわけには……、でも企画立

案から実施まで、私自身が生か

されるから、

責任も大きい

が、やりがい

があります

ね。前の水道

想像できないでしょう」という。

シーザンになると、全国規模の

催されます。住民の多くは副業

で大いそがしですし、私たち職

員もまた、社会体育の事業に全

力投入です。雪のない地方では

勝負の季節なんです。スキーの

シーズンのまつだ中、日夜の

大奮斗のことであろう。(上)

シーザンのまつだ中、日夜の

大奮斗のことであろう。(上)

## 素顔見

畠野町松ヶ崎公民館主事  
藤原淳氏(26歳)

とまりにく

んです。」

と小部落の特

色は? -

事の内容に変化を持たせ新鮮味

を出そうとすると、去年までこ

ううだつたのに何故変えるのか

と不平たらたら。こうした保守

性が苦手です。でも一たん納

得すると、部落一丸となつての

協力を惜しみません。こんな嬉

れしいことはありません。」と、

本当に嬉れしそうな顔で語つて

くれた。

佐渡のへき地で、280世帯を対象  
とする公民館。非常勤の館長と  
二人だから、実質的には一人で  
背負つていることになる。  
「すべてを一人でやるわけだから  
大変ですねえ! -

「でも、運営委員などの役員  
に協力してもらっています。」

「力を入れていることは? -

「たった20人しかいない青年  
なのに、団体として組織するの  
が難かしいんです。何しろ、小  
部落が散在しているので集まり

ました。

(上村記)

